

第18回 能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育
研究発表会が開催されました！



11月10日(火)、「第18回能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育研究発表会」が開催されました。この大会は能勢地域での小中高一貫教育の成果を幅広く発信することを目的に毎年行われています。今回はコロナの影響もあり、能勢分校と能勢小・中学校をオンラインで繋ぎ、『オンライン型』と『参観型』に分かれ、授業見学、総会参加、授業の研究討議が行われました。

公開授業では、『言語活動』で小5中3が「書き方」について学んできたことをお互いに発表し、気づいたことを共有しました。『グローバル英語』では外国の人に日本の季節を紹介するという設定で、小2中1高2がひとつのグループとなり協力して発表しました。『環境』ではオンラインで能勢分校と小中学校を繋ぎ、高1と中2の合同授業が行われました。能勢町外や北海道からのオンライン参加もありました。中高生は、今まで受けてきた新電力会社やドイツ、再エネ、地球温暖化などの「環境」の学びを深め、グループワークでも、熱くディスカッションを行いました。カメラ、パソコン、モニター等機器が駆使され、これからの教育の発信への大きなチャレンジとなりました。



『環境』授業にて

文化祭 2020



例年は10月初旬に行われていますが、今年は11月28日(土)に、入場者を保護者と関係者のみと限定し、ほぼ2か月遅れでの開催となりました。テーマは『楽しんでええじゃないか』。体育館のオープニングでは開会宣言の後に各企画のPRが行われました。クラス企画では1年生が「4つのミッション」を、2年生は「おぼけやしき」、3年生は「ボーリングやブラックボックス」と各学年が趣向を凝らし、体育館では軽音楽部やダンス部、3年生の演劇などで盛り上がっていました。また能勢小・中学校も「ストラックアウトやコイン落とし」の企画で参加し、例年よりも参加人数は少なかったですが、参加者たちは駆け足で過ぎ去っていく能勢の秋を楽しみました。



マスコットの『クリカ』がお出迎え



クリスマスツリーの足元には収穫物！



中庭にて



栗の販売



ダンス発表！



チョークアート！

能勢分校生が卓球イベント『翔晋杯』を開催しました！



11月7日(土)、能勢分校体育館にて、能勢分校卓球部が企画・主催したイベント『翔晋杯』が、卓球用品メーカー「VICTAS」に協賛いただき開催しました。

能勢中学校、東能勢中学校、豊中市、箕面市から約40人の中学生が参加しました。また、豊中高校本校の卓球部4人もサポートにかけつけてくれました。午前中はVICTASの天野優選手による講習会、午後は中学生のトーナメント戦、合間に高校生との試合も行いました。試合後、中学生へ能勢分校の紹介も行いました。

後日、日刊スポーツから取材を受け、このイベントに向けた卓球部員たちの思いが記事になりました。詳しくはYahoo!ニュース「#みんなの3年間～令和の部活事情」に掲載されています。ぜひ、ご覧ください！



「VICTAS」関係者&能勢分校卓球部



能勢中学2年生が能勢分校に体験入学しました！

12月9日(火)、能勢中学校2年生62名が、能勢分校の体験入学会に参加しました。中学生たちは「英語」「農業」「家庭」「情報」に分かれて授業を体験しました。能勢分校は2年次より、『探究』、『食農流通』、『対人支援』、『地域活性』の4つのコースに分かれ、自分が興味のある授業を選択します。この日も、中学校にはない授業に積極的に取り組み、楽しんで授業を受ける姿が見られました。「情報」ではパソコンを使い、オリジナルのクリスマスカードを作りました。「家庭」では子どものための絵本作りをし、子どもの遊びについて学びました。「農業」では日本農業技術検定の問題にチャレンジしました。「英語」ではALT(外国語指導助手)のダボ先生の母国、ナイジェリアの紹介を聞き、自分たちの自己紹介を作って発表しました。

高校での学びを体験し、高校生活を垣間見ることができた貴重な一日となりました。



土曜講習(3, 4, 5回)

中学生が能勢分校での授業やクラブ活動を体験する、「土曜講習(全7回)」の3~5回目を行いました。能勢地域の他、大阪府下の中学校からの参加もありました。

第3回10月24日(土)『ABC から考える「国語」』、第4回12月5日(土)『秋冬野菜の栽培管理』、第5回12月19日(土)『イラストレーターを使ってみよう』の授業で学んだあと、クラブではテニス、卓球、空手道、弓道、サッカー、ドローン、などのさまざまな活動を体験しました。残り2回となりましたが引き続きたくさんの方の参加があることを願っています。

第3回 能勢版寺子屋『英会話講座』を行いました

第3回となる能勢版寺子屋は、ミニ英会話講座でした。11月12日(木)に関係者のみでプレ講座を行い、11月19日(木)、26日(木)と計3回の講座が行われました。講師は能勢分校にALTとして来られているダボ先生です。プレ講座では英語での自己紹介に全員がチャレンジしました。様々な職業の英語での自己紹介は興味深いものでした。19日には中学生の参加がありました。自分ともう一人を紹介する他己紹介を行いました。最終日の26日には一般の参加者がさらに増え、自己紹介の後、相手の話を引き出すような会話の広げ方を英語でチャレンジしました。

能勢分校生、卒業生、応援する会、一般の方、中学生と様々な立場の人々が集い、ダボ先生指導の下、和気あいあいとした講座となりました。次回は能勢分校に来た留学生が加わり、今回の講座の成果が披露されることでしょう。

この「能勢版寺子屋」では、広く一般の方の参加をお待ちしています！



ALT ダボ先生



地域協働推進事業(グローバル型)の活動

地域協働推進事業(グローバル型)とは文科省によるSGH(スーパーグローバルハイスクール)の後継事業のひとつです。

◆ 全国ユース環境活動発表大会に参加

この大会は、地球温暖化対策、脱炭素、生物多様性の保全、自然共生、資源循環など「環境」に関わる活動であって、「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標達成にも資する活動を実践する高校生等の団体が参加できる大会です。

能勢分校からは3年生の中植さんをリーダーに1年生の東さん、中岡さん、谷さん、滝口さん、牧志さんが参加しました。発表の様子を動画録画しYouTubeにて発信し、発表も審査結果もすべてWEBで行われます。

近畿大会は12月1~14日にあり、12月22日に結果が発表されます。12月末以降に地方大会出場校の発表動画が大会HP上にて公開される予定です。結果は次号にてお知らせします。

◆ 全国高等学校グローバル探究オンライン発表会(Glocal High School Meetings2021)に参加

この発表会は全国の文部科学省指定グローバル型地域協働推進校、事業特例校、アソシエイト校(対象37校)が参加することができます。能勢分校は事業特例校として参加します。発表者は3年生の泉さん、三谷(真矢)さん、井上さん、1年生の東さん、中岡さん、谷さん、滝口さん、牧志さんです。この発表会も動画録画をし、YouTubeにて発信するものです。これらの動画は1月13~20日の期間に管理機関、参加校などが視聴、投票し審査が行われます。**最終発表会は1月30日**に行われます。

◆ 森の木いかす森守(もりもり)プロジェクト始動

このプロジェクトは能勢にある「きらら森のいえ」が主催し、公益社団法人国土緑化推進機構の『緑と森の森林ファンド』事業の助成を受けて開催されています。プログラムは9月から始まっていましたが、能勢分校生は12月のプログラムから能勢版寺子屋事業活動の一つとして記録映像を撮るために3年生の泉さん、田村さん、2年生の新谷さん、1年生の東さん、滝口さん、卒業生の大城伊織さんが参加します。**令和3年4月17日(土)に記録映像の試写会**が行われる予定です。

朝日新聞に能勢分校の活動が掲載されました

11月17日(火)の朝日新聞の大阪版ページに、能勢分校と能勢町の地域活性化への取り組み、ドイツ訪問から新電力会社設立までの経緯、地域魅力化クラブの発足について掲載されました。地域魅力化クラブは、能勢分校1,2年生が中心となり、能勢の魅力を広めるために幅広い活動を行っています。

この記事は以前より数回にわたり取材を受けていたものです。また、上森町長から「子どもたちが街づくりに興味を持ち、かかわってくれれば」とのコメントもありました。多くの人に能勢分校の地域活性化に向けた取り組みを知ってもらおう良い機会となりました。



朝日新聞 11/17 朝刊

GS(グローバルスタディ)講座と講師の紹介

➤➤ 12月7日(月) 1・2年 GS 課題探究基礎講座(能勢町連携講座)

講師:川又 孝太郎氏(環境省環境再生・資源循環局事業担当参事官)

テーマ「能勢町版シュタットベルケ、脱炭素社会」

➤➤ 12月9日(水) 2年 GS 課題探究基礎講座(能勢町連携講座)

講師:小辻 昌平氏(サラヤ株式会社 コンプライアンス推進室課長)

テーマ「コロナ禍におけるサラヤの役割と環境保全」

➤➤ 12月21日(月) 1・2年 GS 課題探究基礎講座(能勢町連携講座)

講師:千葉 知世氏(大阪府立大学人間社会システム科学研究科准教授)

テーマ「ポストコロナ社会と『地域』」

➤➤ 10月24日(土)、12月5日(土)、19日(土)、1月16日(土)、30日(土) 1年 GS 英語プレゼンテーション講座

講師:ティモシー・カーン氏(関西学院大学講師)

1年生は「グローバルハイスクールミーティング 2021」英語プレゼンテーション部門に出場し、本校の地域活性化の取り組みについて発表します。

講座では発表に向けてカーン氏の指導のもと準備が進んでいます。



カーン氏

留学生の紹介



公益財団法人 AFS からの長期留学生エン・チさんが、マレーシアのジョホールバル市から本校へ来ました。来年7月まで分校に通います。チーさんはマレーシアでは毎日2時間かけてシンガポールにある高校に通っているそうです。

『はじめまして！私の名前はエン・チです。「チー」と呼んでください。趣味は絵を描くこと、ピアノを弾くこと。そして「鬼滅の刃」など、日本のアニメが大好きです。英語と中国語ができるのでみなさん話しかけてくださいね。好きな食べ物はお肉です。日本の文化が美しく、興味があるのでたくさんのことを学びたいと思っています。そして友達をたくさん作って仲良くなりたいです。よろしくお願いします』

能勢分校だけでなく、能勢小・中学校での交流も楽しみにしています。みなさんも見かけたら気軽に声をかけてください！

第2回 先輩からのエールが届いています！



能勢高校卒業生(64期生) 大城 桜子さん

関西学院大学 教育学部 教育学研究科 初等教育コース



私は子どものころから海外に興味があり、能勢高校に入学しSGHの講座で来られる外部講師の方々のお話をとても興味深く聞いていました。ある日友達に誘われて留学の話聞きに行ったことがきっかけで、高校1年時に、コスタリカへ留学に行きました。コスタリカはスペイン語圏の国です。私はもともと英語が苦手な、留学に行くときにはほとんど英語が話せず、ましてやスペイン語はまったく話せませんでした。はじめの3か月ほどは翻訳機を通しての会話でしたが、帰るころにはスペイン語での日常会話はすらすらできるようになっていました。言葉も文化も異なる国で、多くの人に出会い、助けられ、自分自身や人生を見つめ直すことができた、そんな留学生活でした。

帰国してからは、能勢高校のSGH活動でコスタリカの環境政策について課題研究を進めました。そして将来はグローバル教育の世界で活動したいと思い、大学は教育学部を選択しました。

大学生になり、能勢高校SGHでの課題研究の進め方やプレゼンテーションの経験が大いに役に立ちました。そして2回生になり、自分の将来の夢を叶える第一歩として、一年間カナダのバンクーバーで過ごしました。英語はもちろん、多文化国家であるカナダで、さまざまな国の人や文化に触れられたことは、自分の価値観や考えを変えるきっかけになりました。来年からは多文化共生についての学びを深めるため、大学のゼミで学ぶ予定です。

みなさんは、高校生の中に多くの人との交流や経験を通して自分を見つめ、なりたい自分を想像してみてください。すべては自分次第です！！自分から行動を起こせば、能勢分校にはたくさんのチャンスがありますよ。

Tu puedes!!
(You can do it)
君ならできる!!



コスタリカ



カナダ

●能勢町・能勢分校連携講座を開催します●

2月8日(月) 1年GS課題探究基礎講座 テーマ:『SDGsカードゲームから考える地球の未来』

講師:藤田 美保氏(箕面こどもの森学園校長)

時間:5、6限 (13:10~15:00)

場所:本校 視聴覚教室

講座はどなたでも参加いただけます！

お申し込みは能勢町ホームページよりお願いします。
高校生と一緒に能勢町の未来について語りましょう。